

# 平成 27 年度 学校法人三幸学園 大阪こども専門学校 学校関係者評価委員会

自己評価報告責任者:大阪こども専門学校副校長 杉山 誠  
学校関係者評価報告責任者:学校関係者評価委員会委員長 高橋 美穂

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝され、こどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 27 年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1)生徒の主体性を育む(自ら考え行動できる人材育成)

- ・皆勤精勤率の向上、退学率の低減、就職率100%
- ・基本の徹底(挨拶・礼儀マナー・清掃・時間厳守)

2)教職員のレベル向上(チームとしての一体感、人材の育成)

- ・若手、中堅、役職者とレベルに応じた研修の場を計画し、教職員の質の向上を図る
- ・授業の質の向上(アクティブラーニングの積極的な実践)

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

### (1). 教育理念・目標

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

#### ① 課題

入学前オリエンテーションや保護者会にて教育理念や目的の周知はされているが、それぞれが理解し行動に移されているかは不明である。知っているだけでなく、多くの場面で意識して行動できるレベルまで浸透させたい。

## ② 今後の改善方策

- ・保護者会の内容を再度検討し、より理解いただける内容にしていくと共に、学校から発送される文書内にも記載していく。生徒に対しては、「成功の法則」や「スタートアッププログラム」にて育成人物像をより理解できるようなプログラムを検討して導入していく。

## ③ 特記事項

- ・年度初めに、担任から自クラス生徒の保護者へ着任挨拶の電話を入れている。
- ・校内掲示ポスターを作成し、視覚的なアプローチを強化している。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (2). 学校運営

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	②	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	④	3	2	1
教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	③	2	1

## ① 課題

- ・教職員個々に任せている部分もあり、一部組織が機能しておらず、コンプライアンス体制の整備も十分になされていない。
- ・ほとんどの業務が紙面での管理からパソコンでの管理にシフトされているが、パソコンの扱いが苦手な教職員も多く、現在は併用している状態である。

## ② 今後の改善方策

- ・コンプライアンス規定を整備し、研修等も実施しながら全教職員に浸透させる。
- ・パソコンの扱いが苦手な教職員に対して、個別にパソコン上での業務処理の仕方をレクチャーしていく。
- ・教職員採用の際に、業務内容の説明だけでなく、パソコンスキルについての確認を行う。

## ③ 特記事項

- ・既にコンプライアンス規定の作成に取り掛かっており、DVDによる教職員研修を実施している。
- ・web掲示板の導入により、情報伝達のスピードや確実性が増した。

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・既に教職員向けの研修等が実施されているとのこと、引き続き改善に努めてもらいたい。

### (3). 教育活動

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4 3 ② 1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④ 3 2 1

#### ① 課題

・業界との連携強化が最重要課題となっている。実習等の評価だけでなく、カリキュラムに対するアドバイスや優れた教員の紹介をしていただけるような関係の構築が必要である。

#### ② 今後の改善方策

・実習アンケートの結果を検証し、授業カリキュラムの見直しと、実習事前指導の改善に努める。  
 ・園長連絡会を開催し、実習生や就職者に必要な能力を確認すると共に、当校のカリキュラムや指導方法に対するアドバイスをいただく機会をつくる。

#### ③ 特記事項

・3年前よりアクティブラーニング社による教職員研修を実施したり、姉妹校の優れた教員の授業風景を撮影し教育の質向上に努めている。

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

・各団体が開催する連絡会や懇談会への参加だけでなく、学校独自で実習連絡会などを開催することを進める。  
 ・実習や就職において「連携指定校」のような取り交わしをする園があってもよいのではないか。

#### (4). 学修成果

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

##### ① 課題

- ・多様化する学生の能力に応じた学習指導の研究
- ・各団体が開催している説明会への参加者が少ない。せっかく複数の園に集まっただき貴重な情報を入手できる機会を無駄にしている学生がいる。

##### ② 今後の改善方策

- ・教職員の指導力向上の為の研修の実施
- ・授業外での補講や自主学習のできる環境を整える
- ・告知ポスターを作成し、校内掲示板とWEB掲示板に情報を公開し、全教職員と全校生徒に周知していく。
- ・説明会終了後、出席した学生だけでなく、出席しなかった学生に対しても指導する機会をつくる。

##### ③ 特記事項

特になし

##### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・就職率の向上だけでなく、就職先のミスマッチを減らす取り組みにも力を入れてほしい。

#### (5). 学生支援

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
卒業生への支援体制はあるか	4 3 ② 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

##### ① 課題

- ・学費応援制度などの体制は整っているが、学費を延納している生徒への早期連絡や返済方法の相談などが

後手になってしまうことがある。

- ・保護者と連絡を取りたくても、なかなか連絡が取れないことがある。
- ・卒業生に対する支援が不十分であり、状況の把握もできていない者もいる。

## ② 今後の改善方策

- ・毎月、学費の納金状況を経理担当より担任に共有し、経理担当と担任の二人体制でサポートしていく。
- ・同窓会リンク等のWEBサイトを立ち上げたが上手く活用されていない為、卒業前の周知を徹底していく。

## ③ 特記事項

特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・電話だけでなく、文書での通知も必要である。ただし、文書に関しても送付後のケアが大事。
- ・卒業生に対しての支援活動は、卒業後の告知ではなく卒業前に告知しておくことも有効である。

## (6). 教育環境

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

## ① 課題

- ・学生数に対して十分な実習先が確保出来ていない

## ② 今後の改善方策

- ・実習巡回や訪問を強化して実習生の受け入れ人数を増やしてもらう。また、当校の理念等を理解してもらうことで他の施設を紹介してもらえるような強い関係を築く。

## ③ 特記事項

特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・実習巡回教員は変更しても問題ない。学校の情報をしっかりと伝えることができる教員を送り出すことが大切。
- ・実習以外でも、いろいろなことを提案し Win-Win の関係になればよい。

## (7). 学生の受入れ募集

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

## ① 課題

大阪専修学校各種学校連合会の規定に従い、適正に実施している。

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(8). 財務

【評価項目】	適切:4 ほぼ適切:3 やや不適切:2 不適切:1			
	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

・社会的なニーズに即した学校の設置・増加に伴って、今後は更なる業務の多様化に対応した体制強化と整備が必要と考える。

② 今後の改善方策

・制度に対応した合理化、システム化の推進に取り組んでいく。  
・規模の増加に対応するための人材の育成

③ 特記事項

○中長期的な財務基盤の安定について

・中期事業計画が策定され、当該計画は H25 年度に前倒しで完了している。  
・生徒募集は堅調に推移し、予算も計画通り推移し財務基盤は安定している。

○予算および収支計画の有効性、妥当性について

・予算・収支計画については、正確かつ適正な予算編成を行うことを目的として、毎年度、学校責任者が策定し、総務部と理事で構成する予算編成会議において原案を策定している。  
・予算執行状況が当初予算と乖離する場合、予算編成会議において補正予算の原案を策定している。  
・策定された原案については、理事長説明を経て、理事会・評議員会において目的と有効性が審議され、有効かつ妥当なものとなっており、決算書、予算書、事業報告書に反映している。

○会計監査について

・私立学校振興助成法第14条第3項の規定に基づき、公認会計士による会計監査を受検している。また、私立学校法第37条の学校法人監事による業務監査及び関係監査を受検している。  
・法人内部では総務部による内部監査を実施し、監事、公認会計と情報共有を行い、財務の正確性と業務執行状況について担保している。

○財務情報公開について

・財務情報の公開については、私立学校法に基づく体制整備している。なお、財務内容についてはWEBで閲覧可能な状態となっている。また、事業報告書を作成し、時系列且つグラフを用いて第三者からも

理解しやすい工夫を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9). 法令等の遵守

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	③	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

- ・教職員個々に管理を委ねているケースもある為、学校全体としての再度保護対策の見直しが必要である。
- ・生徒のSNS活用方法について、モラル指導を行っているが不十分であるため見直しが必要である。

② 今後の改善方策

- ・実習や就職活動に関わる書類の発送は必ず記録の残る手段をつかう。
- ・教職員に対する研修を行い、書類の管理方法や保管場所を整備する。
- ・教職員だけでなく、生徒に対する教育も徹底していく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・定期的に研修を行うなどして全教職員の統一に努めてほしい。
- ・SNSに関しては、高校でも保育業界内でも大きな問題になっている。保育現場での具体例などを挙げながら指導することも行ってほしい。

(10). 社会貢献・地域貢献

【評価項目】	適切:4	ほぼ適切:3	やや不適切:2	不適切:1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	②	1
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	③	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	3	②	1

① 課題

- ・せっかくボランティア活動の求人をいただいても、教育提携先の短期大学の卒業単位を取得する為、土日や長期休暇中にスクーリングを開講していたり、学生の実習や巡回の為に人員を確保できずにお断りすることになってしまうことがある。
- ・新校舎 1 階の保育ルームがうまく活用されていない。

## ② 今後の改善方策

- ・平成28年度よりカリキュラムの見直しを行い、学生たちにボランティアを積極的にできる環境を整える。
- ・教職員の採用に力を入れ、適正な人員の確保に努める。
- ・地域子育て支援について実施できるよう淀川区まちづくりセンターと相談しながら進めていく。

## ③ 特記事項

特になし

## ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・教職員が忙しくて人手が足りないのであれば、施設をボランティア団体に貸し出して地域支援イベントを実施してもらう等、方法は多数あるので検討してみてください。

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本評価の結果からは、課題として「卒業生へのアプローチ」「保育業界との連携強化」「コンプライアンス」といったキーワードがあがってくる。卒業生に対しては、支援内容だけでなく、告知方法も含めて再検討をしたいと思います。そして、保育業界との連携に関しては、受け身の姿勢であったことを反省し、当校から積極的にアプローチをかけたいと思う。最後に、コンプライアンスに関しては、既に取り組みがスタートしてるが、今後も継続して全教職員に対する研修を実施していきたい。